



夏休み前の全校朝会！



昨日、夏休み前の全校朝会を行いました。全校朝会では、校長先生のお話、生徒指導の先生から夏休みに気を付けることのお話、そして図書委員会の子供たちからは、夏休みにお勧めの本の紹介がありました。図書委員会の4人はとてもドキドキした様子でしたが、



分かりやすく紹介しました。見ている方もリモートなので、どんな本なのか

はっきりと見ることができました。校長先生からは、次のようなお話がありました。いつものようにしっかりと話を聞く子供たちの姿を見ることができました。

「努力のつぼ」

皆さん、お早うございます。前期前半が終わり、明日から夏休みです。皆さんは4月に進級し、目標をもって今日まで頑張ってきたことでしょうか。頑張ってきた成果はどうでしたか？鉄棒の逆上がりはできるようになりましたか？算数の計算は早く正確にできるようになりましたか？計画的に学習に取り組むことができるようになりましたか？少しの頑張りでできるようになった人もいれば、頑張っても頑張ってもなかなかできない人もいます。この長い夏休みに、少しでもできるように、また自由研究など新しいことにチャレンジする人は根気強く頑張してほしいと思います。

さて、そこで今日は、皆さんに「努力のつぼ」というお話をします。人がある目標に向かって努力をするとき、神様から「努力のつぼ」をもらうのだそうです。そして、努力するたびに、そのつぼの中に努力がたまっていきます。つぼが努力で一杯になると、できたり、分かったりして目標が達成できるというお話です。

皆さんは、逆上がりの練習をしているときに、あるとき急にできるようになった経験はありませんか？それは、練習している間に少しずつ努力がたまっていたのです。算数が分かるようになったときも、平泳ぎができるようになったときも同じです。しかし、この『努力のつぼ』には、二つの困った点があります。

一つ目は、『努力のつぼ』は外から中が見えないということです。見えないから、努力がたまっている様子が分かりません。努力しても努力してもできないとき、それは自分にとって一番つらいときです。そのため、あと少しの所であきらめてしまうことがあります。しかし、もしかするともう少しで『努力のつぼ』は一杯になっていたかもしれません。自分の『努力のつぼ』を信じて、最後までやり抜くことが大切です。

二つ目は、『努力のつぼ』は場合によって大きさが違うということです。小さいつぼの場合は少しの努力ですぐ一杯になります。一方、大きいつぼの場合はいくら努力を重ねても、なかなか一杯にならず、できるようになりません。目標を達成するまでに時間がかかります。では、大きいつぼはだめなのかというと、そうではありません。つぼが大きいと努力を積み重ねる過程で、自分を鍛えることになります。壁にぶつかってもへこたれない、やりぬく強さを身に付けることができます。

努力をしているときは、本当につらいものです。でも、これまで苦労して頑張っている努力の分は、間違いなくそのつぼにたまっています。少しずつですが、確実にたまっているのです。ですから、あきらめずに、休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ず一杯になり、あふれるときがきます。このことを信じて、あきらめずに努力を続けてほしいと願っています。そして、「分かった！」「できた！」その笑顔を楽しみにしています。

終わりに、新型コロナウイルスの流行が続いており、また、暑い日がこれからも続きます。皆さんには、基本的な感染症対策を継続しながら、熱中症にも十分に気を付けて、夏休みを送って欲しいと思います。そして、また元気な皆さんと笑顔で会える日を楽しみにしています。これで、今日のお話を終わります。

昨年度の夏休み前も書いた記憶がありますが、年々暑くなっている気がします。コロナ対策、熱中症対策を講じながらも、夏休みならではの活動ができるとよいですね。

夏休み前学習の一コマ！



1年生生活科
シャボン玉をつくりました！



5・6年生
講師の方を招いての味噌づくり体験



4年生 社会科
タブレットで調べて新聞づくり



2年生 道徳
「よいと思うことを進んですること」について学びました！



3年生 図画工作科
工夫を凝らして意欲的に取り組みました！

わずかなご紹介ですみません。夏休みに、7月まで学校でどんな学習をしてきたのか、お子様とぜひ、お話しさせていただきます。

山小ベース 各クラスの具体的な行動目標決定！

山小ベース各クラスの具体的な行動目標がきました。自分たちの目標はもちろん、他のクラスの行動目標も参考にしながら、よりよい学校生活を子供たち自身で創っていくことができるようにしていきたいと思ひます。(見えにくいと思ひます。お手数ですが、拡大してご覧ください)



第2回 学校運営協議会

7月7日(木)、本校メディアルームで第2回やまぐち学園学校運営協議会を行いました。今回は、附属山口中学校の前原校長先生から、「やまぐち学園幼小中一貫教育」についての説明のあと、やまぐち学園のめざす人間像「よりよい未来を共に創り出す人間」を幼小中一貫教育を通して育てるための地域や大学と連携した取組について、熟議を行いました。幼小中交えてのフリートークやアートで幼小中大までつながった活動をするなど、様々なアイデアが出てきました。これらのアイデアを子供たちに投げかけながら、子供たちの成長につながる活動を実施することができたらと考えています。コロナウイルス感染症の感染状況が少し思わしくなくなってきましたが、無理なく可能な教育活動を展開していきます。

